

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2016
vol.230

毎月1日発行

7月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



きのこ

子育て中のママ
パパ おじいちゃん
おばあちゃん...
すべての人を応援します



●石巻の復興は子育て支援でリードしよう! 荒木 裕美(NPO法人ベビースマイル石巻)

●地域社会で守ろう、子どもの権利と健全育成〜児童福祉法の改正に寄せて〜

土佐 昭一郎(NPO法人ミヤギユースセンター)

●仮設住宅からの復興コミュニティ・デザイン〜あすと長町での取り組み〜

新井 信幸(東北工業大学)

みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介 『つながり』を求めて

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



石巻の復興は

子育て支援で

リードしよう!



荒木 裕美

NPO法人ベビースマイル石巻
代表理事

NPO法人ベビースマイル石巻は妊娠期〜未就学児親子の子育て支援を行っています。

震災当時、私は二歳になる長男を子育て中で妊婦八ヶ月の主婦でした。乳幼児に特化した「情報」が入ってこない・「物資」がない・遊び場がない状況をうけ、乳幼児親子は地域とのつながりが弱い時期なのだと体感しました。

そこで、①緊急時に乳幼児に特化して支援する団体が石巻に必要!②子育て当事者ネットワークを作って、「私たち、ここにいます!」と乳幼児親子の存在を地域の中で見える化!が必要だと感じました。

震災によって、新たなまちづくりが行われる。この時に、子育ての視点を復興まちづくりにしっかり入れ込み、たくさんの新たな命が産まれ、命を大切に育てる。子育てを楽しむ地域として人々が集まる地域をつくりたい。これが活動の原点です。



地域を変化させる

さて、五年を振り返ると石巻の乳幼児親子を取り巻く子育て事情も大きく変化してきました。いえ、子育てママのネットワークがしっかりと地域で機能し、ニーズをがつつり届け、変化させてきたと言えるでしょう。

震災後、石巻で妊娠・出産・子育てすることへの不安感から、私たちの当事者ネットワークはつながりをもって、広がっていきましました。二〇一一年五月に任意団体を立ち上げ、二〇一二年四月にNPO法人を設立。助成金などを活用し、公民館や仮設集会所などを利用して、乳幼児親子の居場所づくり、親子のイベント・サロン・子育て講座・相談などを行い、震災のコミュニケーションの変化による孤立と、孤立による虐待を防ぎ、地域とつなげる活動を展開。二〇一三年には年間約三、五〇〇組の親子(七、〇〇〇人)の交流の場づくりと、メーリングリスト登録数は八〇〇件を超えていきました。(石巻の年間出生数は約一、〇〇〇人)石巻市では震災後まずは保育所の整備から始まり、多忙な復興業務の中、地域の子育ての支援は民間に委ねられていました。子育て

支援の団体や個人の活動の中でも、妊婦や乳幼児、未就学親子を対象とした団体は少なく、それだけ当事者だからこそ立ち上げてこれた分野なのではないかと思っています。

石巻行政が子育てに関してNPOをパートナーとして考える契機となったのは、平成二十七年内閣府「子ども・子育て新制度」でした。新制度の内容は、認定こども園など保育に関するものに加えて「地域の子育て支援の充実」。まさに、地域の子育て当事者のニーズを集め、必要な支援をつなぎ、作ってきた私たちの活動でした。

そして平成二十七年に市より「地域子育て支援拠点事業」を受託。地域に根差した支援拠点、マタニティ・子育てひろば「スマイル」の運営が始まりました。

最近特に感じるのは、ママが震災経験を語ってくれるようになってきたことです。震災直後から、「震災ケア」を目的の一つとして活動してきました。しかし、遊び場やサロンの場で震災の話はあまり出てこなかったのです。今、震災の話も会話の中に自然と織り込まれておしゃべりしている様子を見ると、人に話せるようになるには時間がかかること、話せる場を

親子が集うマタニティ・子育てひろば「スマイル」



作ってこれたことにほっとします。震災によって住環境が大きく変化した方、親が犠牲となった方、子育てへの影響は計り知れませんが、子育ては気力体力と言われますが、気力のほうが大切なのです。しっかりと寄り添える関係づくりと地域資源との連携を深めたいと思います。

●●●命を大切にする連携・協働●●●

近頃は、その連携、協働のあり方についても地域で改めて見直さなくてはいけないと感じています。石巻では、子どもの貧困や不登校についての課題があることを知りました。問題が目に見えてくるのは就学後。しかし、その前からきつと問題の芽は育っているはずで、問題を未然に防いでいくための妊娠期・乳幼児期からのセーフティ

ネット作りは大変重要だと感じます。そして、団体の連携や協働は、「連携・協働」をすることが最終目的ではありません。一つの命をどう救うのか、長期的に見守るために、個々のケアプランに合わせた実践的に連携していく必要があると感じます。ずっと感じてきたけれど、出来てこなかった。でも今、何か連携の糸が見えてきた気がします。

●●●地域から子どもに関わろう●●●

活動では支援が一人でも多くの方に届くように、工夫しています。しかし、支援を受けようとする方には比較的届きやすくても、支援が本来に必要な方は、支援を必要とせず孤立しているケースが多く、当事者ネットワークにもなかなか入ってきません。私たちの直接支援出来る人は限られています。私たちは地域にニーズを届けて発信していきまますので、是非そのパスを受け取って、より親子の日常に身近な地域の方に見守り・寄り添いをお願いしたいと思っています。子育てひろばに来る親子の一番の動機は「四六時中、部屋で赤ちゃん」と二人きりでお世話のくり返し。息が詰まりそうになり、家以外に

出たいと思った、「とにかく、だけれか、自分以外の大人と話がしたかった」です。

あら？そんなこと？はい。現代での子育ては多くの場合この状況になり、放っておくとたくさんの方の問題の引き金となっていきます。地域には、子どもや子育てに関わる方がもつといるのではないのでしょうか？

日本では少子化は大きな課題で、石巻では震災による若者の流出も課題です。三十年後には地方消滅と言われ、子どもや子育てのことは未来につながる重要課題です。

「わかっちゃいるけど、誰かやってくれるでしょ」、っていうか荒木さんやって、「三十年後か俺（私）生きてないだろうから、別にいいや」なんて言わないでください！身近にいる赤ちゃんを目を合わせてみてください！その子が生きる将来なのです！一肌脱ぎませんか？

じゃあ、どうしたらいいかって？「子ども」「子育て」という言葉を口に出してみてください！子育てに関わる人たちが「おや？」と寄って来ると思いますが、「何かできることかあれば」と言ってください（笑）私、ばかげたこと書いていますよね。でも世の中ってこんなことで変わっていくって最近思うのです。

ごめんなさい！

●●●カギを握るのはあなた●●●

団体が無いと地域を動かすことはできないのか、というところではないと感じています。私は個人の動きと団体の動きの相乗効果でここまで活動してきました。個人の動きというと、ただ、いろんな場で「子ども」「子育て」というキーワードを発言してやることです。例えば公園をつくるといった会議。当然子どもや子育ての視点が入っていると思いますが、そうではないことも多いのです。会議のメンバーによっては「高齢者」に限定した視点になることもあります。また、そういった会議の場に参加して中々ママは参加していません。その場に「いる」だけでも場が変わってきます。子育て中のママには是非、社会参加！してみたいです。命を産み育てる世代は地域復興のカギを握っていると私は信じています。

NPO法人ベビースマイル石巻

〒986-0861 石巻市蛇田字土和田19-11
●TEL : 0225-24-8304
●FAX : 0225-24-8305
●E-mail : ishinomaki@forbabysmile.com
●URL : http://www.forbabysmile.com/

地域社会で守ろう、 子どもの権利と健全育成 ～児童福祉法の改正に寄せて～



土佐 昭一郎

NPO法人ミヤギユースセンター 理事長

二〇一六年五月二十七日、参議院本会議で児童福祉法の改正法案が可決されたことをご存じの方も多いと思います。児童福祉法は、一九四七年すべての児童の健全な育成とひとしい生活の保護の保障を国、地方公共団体と保護者の責任であるとした法律です。関連する条約として、一九八九年第四十四回国連総会において採択された「児童の権利に関する条約」があり、我が国は一九九四年に批准しています。

●●●●● 社会的背景—ミヤギユースセンターの活動から ●●●●●

NPO法人ミヤギユースセンターは、二〇〇一年八月青少年の健全育成を目的に「高校生の不登校、高校中退者の学習支援と進学・就職などの進路支援」を提供するNPO法人として設立しました。設立当初は高校不登校生と高校中退者の相談だけでしたが、二〇〇四年から中学生の相談が増えたのに合わせ、中学生の不登校生の学習支援を開始しました。二〇一二年三月の東日本大震災後もなくは相談件数も激減しましたが、最近では相談件数が東日本大震災前より増えています。

小・中学生の相談の多くは「学校に行っていない」というものだけではなく、「発達障がい傾向がある」、「ひとり親家庭で生活が苦しいので進学が心配」、「いじめにあっているようだ」など、相談内容は多様です。

さらには十年前にはほとんどなかった小学校の二、三年の相談が目立つようになってきていることに、とても大きな危惧を感じています。小学校の不登校数が増加しており、特に低学年からの不登校は、ややもすると中学校も不登校になった場合、しっかりとした教育を受けることなく社会人になると考えた場合、本当にこのままで良いのだろうかと思ってしまう。

経済格差、教育格差などが大きな社会問題となつていますが、ひとり親、虐待、育児放棄、出生後確認のできない子ども、子ども誘拐など、子どもに関する社会問題は急速に増加しています。社会環境の変化と家庭における経済力が子どもの養育に直結しているといえ、障がいのある子どもを含め、すべての子どもは、ひとしく生活でき、教育を受け、健全な成長をする権利をもっているということの理解が重要です。子どもの健全な成長を国や行政に任せるのでは

なく、社会全体で保障していく意識を持つことが大人としての役割ではないでしょうか？

●●●●● 子どもの権利と 保護者支援 ●●●●●

今回の児童福祉法改正では、「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。」と子どもの権利を明確にしました。障がいのあるなしに関わらず、すべての子どもの権利を保障するために「国・地方公共団体は、保護者を支援するとともに、家庭と同様の環境における児童の養育を推進する」ととし、妊婦のときから自立するまでの保障をする必要性を規定しています。

日本の子育ては昔からの慣例で、子ども育成は「家庭の責任」と他からの意見や支援は難しい一面もあります。しかし、今回の改正では「保護者支援も子どもの権利を保障するためには必要である」ことが明記されました。保護者は

仮設住宅からの復興コミュニティ・デザイン

～あすと長町での取り組み～



新井 信幸

東北工業大学 准教授

被災によって絶望を味わった彼らは、仮住まいの環境のなかで新たなつながりや新たな日常を構築し、終の住処になるかもしれない復興公営住宅にむけて、コミュニティの共助機能を維持・発展させようとして取り組んできた。本稿では、そんなあすと長町仮設住宅（あすと仮設・図1）で取り組まれてきた、共助型コミュニティづくりのプロセス（コミュニティ・デザイン）を紹介し、そのうえで、孤立させない環境づくりにむけた示唆を、若干加えたいと思う。

●●●●● 仮設住宅での コミュニティ形成

あすと仮設は、仙台市内で、最初（二〇一一年四月三十日）に入居が開始された市内最大（二二三三戸）のプレハブ仮設団地である。様々な地域から個別に入居した世帯が多かったことから、見知らぬ者同士の寄り合い所帯となり、当初から高齢者等の孤立が懸念された。そのようななか、一部の居住者らが精力的に見守りや自治活動に取り組む、同年八月に自治会準備組織を立ち上げた。筆者は入居開始直後から、仮設カスタマイズ（軒先収納・縁台等の制作）支援を学

生たちと展開していった。この他にも、多くの外部支援団体が、集会所でカフェやイベントを開催する等して、多様なコミュニケーションの場をつくり出していた。さらに、居住者自らもベクトル、カラオケ、農園等のクラブ活動に取り組み、それらの少数人グループをいくつもつなぎ合わせることで、「ブドウの房」のようなコミュニティを形成していった。

●●●●● コミュニティの継承と 計画提案

居住者らの献身的な自治活動、充実した外部支援が続いたことで、コミュニティは醸成され、二〇一二年三月十一日、正式に仮設住宅の自治会が発足した。そして、独居の高齢者等から「安心できるので、このままここで暮らしたい」とそんな声がいくつもあがるようになっていた。一方、仙台市



図1. あすと長町地図および仮設図面

によって復興公営住宅整備に伴う入居意向調査が実施され、「どこを選べばいいのかわからない」という相談が自治会役員にいくつも届けられるなど、新たな不安が生じていた。

これを受けて、飯塚正広自治会長を中心に、仮設住宅で育まれたコミュニティを次のステージに継承させて、復興のその先においても高齢者が孤立せず、安心して暮らせる環境を創造していく取り組みに発展していった。そして、これを筆者らが全面的に支援することになった。具体的には、災害公営住宅の計画内容を提案していくことを通して、孤立しないためのハードソフトの環境について検討していった。また、この取り組みに賛同する居住者約八十世帯によって、「コミュニティ構築を考える会（考える会）」が結成された（二〇一二年六月）。

約一年のあいだに、勉強会、ワークショップ、見学会を毎月開催し、毎回三十名以上の居住者が参加して議論しながら計画提案を練っていった。提案の内容は、仮設敷地内の空きスペースに一〇八戸の集合住宅を建て、そこに入居する人と仮設にしばらく残る人が一体のコミュニティを維持できるように

したもので、その他にも、向こう三軒両隣を基調とした各フロア六戸、住戸は玄関側に大きく開いた間取りとした(図2)。加えて、コモンミールやコミュニティ・カフェのできる集会所を、誰もが通る一階エレベーター脇に設け、高齢者等の居場所となるよう計画した。そして、この提案は、仙台市が実施した復興公営住宅建設に伴う公募買取事業に応募することで実現へ大きな一歩を踏み出した。さらに、仙台市では、コミュニティ単位で入居申請することで優先的に入居できる制度を導入したため、それも活用することにした。

しかし提案は不採択。失望した居住者たちも少なくなかった。結果的には、あすと仮設の近傍に建設されることになった、三つの復興公

営住宅(計二二六戸)に約八十世帯が入居できることになった。

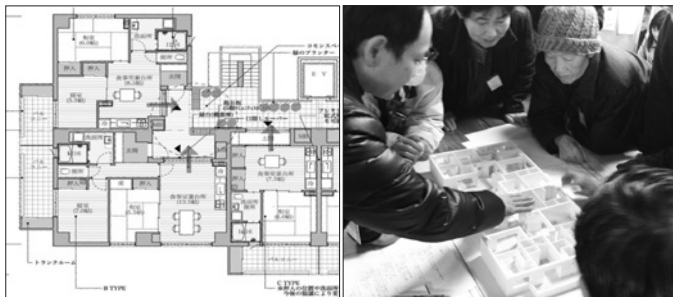


図2. 提案図面(左)とワークショップの様子(2012.12.22)

営住宅(計二二六戸)に約八十世帯が入居できることになった。

新たな「コミュニティ形成」

復興公営住宅への転居(二〇一五年四月～六月)に先駆けて、卒業式ならぬ「卒業式」を開催し、笑いあり涙ありの盛会となった。また、他地域からあすと地区の復興公営住宅へ入居する世帯等に向けてウェルカムマップもつくった(図3)。

足させた。世話人会のメンバーはそれぞれ過半数があすと仮設からの居住者であった。翌月からは居住者が主體的に検討を始めるようになった。それに対して「考える会」では、世話人会相互の情報共有の場を設けたり、仮設住宅で支援を続けてきた十数団体に声をかけて、支援の継続や情報共有の場として交流会を開催したりした。そして、二〇一六年三～四月に、三つの復興公営住宅でそれぞれ自治組織が立ち上がった。

三つの復興公営住宅は、あすと仮設からの入居が全体の約四分の一で、それ以外は、みなし仮設から個別での入居がほとんどであった。そのため、再び顔見知りの少ない寄り合い所帯となった。入居開始当初は、社会福祉協議会が居住者交流会を開催し、そこで積極的に発言をしていた居住者を中心に声をかけるかたちで、自治会形成にむけた有志グループ(世話人会)を、それぞれ同年九月に発



図3. ウェルカムマップ抜粋(左)とマップづくりワークショップ(2014.12.13)

なっていて、普段、公の場ではほとんどみかけない方もみられていた。ここには、孤立をふせぐ重要なヒントが隠されているような気がしたので調査も実施した。最後に、そこで気がついたことを少し客観的に説明したうえで、今後を展望してみたいと思う。

要するに、支援には、支援される人、する人の相性がある、あとの人のカフェには行くけど、こちらのサロンには行きたくない、そんな関係がみられるわけで、それが継続していくと、それぞれの活動には固定客しか参加しないというふうになる。それはある意味しかたないことかもしれないが、多様な主体が活動していれば、支援される側は相性を選択でき、より多くの居住者が参加しやすい状況が生まれる。だから、あすと仮設の集会所は、みんなの居場所にならなければならぬ。

孤立をふせぐ 新しい共助の枠組みへ

あすと仮設では、多様な支援団体や居住者たちの活動が毎日のように展開されたことで、集会所が「みんなの居場所」になっていた。その様子を覗いてみると、各活動で参加者の顔ぶれが少しずつ異

いまは、そうした環境を復興のその先にも継続させることを目指して、あすと仮設で活躍してきたアート、福祉、体操、カフェ等をテーマにした十数団体と連携して、支援を継続する枠組みを整備しようとしている。今秋には「(仮称)つながりデザインセンター」を設立させる予定でいる。

『つながり』を求めて

みやぎNPOプラザ(以下、プラザ)では、NPOや市民活動団体に活動の拠点として事務室を貸出しています。この五月に新たに使用団体を募集した結果、三団体がプラザの入居団体に加わりました。今回はそのうちの二団体を紹介します。

NPO法人日本演劇情動療法協会

NPO法人日本演劇情動療法協会は、演劇や朗読を用いた、演劇情動療法の普及とその担い手となる情動療法士の育成を行う団体です。

認知症が発症すると認知機能が低下し、物忘れがひどくなるといった症状が起こります。一方、認知症患者でも、情動機能、いわゆる怒りや泣く、喜ぶ、といった感情は表現できます。残されている情動機能に適切な刺激を与えて、

認知症患者の認知機能や情動機能の回復に優位に働く効果が演劇情動療法にはあると老年医学学会でも認め



▶病院での演劇情動療法の様子

られています。また、認知症患者の問題行動が緩和されるという報告もあります。

自ら情動療法士として活動に取り組む理事長の前田有作さんは「泣いたり、笑ったりすることは、人間の最も原始的な感情表現です。認知症患者に残されている情動を大切に、最後まで豊かな時間を長く送ってほしい」と話しています。現在、仙台市内の病院で演劇情動療法を実施しています。今後は、情動療法を介護施設や病院で実践してもらうことが目標です。

Sendai Forza

Sendai Forza(以下、仙台フォルツァ)は、一九九八年に知的障がい者のサッカーチームとして設立されました。

現在はチームの運営で培ってきたノウハウを活かし、知的障がい者サッカーの普及活動を行っています。障がい者サッカー大会の運営や、プロサッカーチーム「ベガルタ仙台」との協働によるバリアフリーサッカー教室を開催し、障がい者が目標を持ってスポーツ活動ができる場を提供しています。昨年からは、スポーツ活動だけでなく、障がいの壁を越え、だれ

でも集うことのできる『居場所づくり』活動も始めました。今は七宝焼きや茶話会といった活動が中心ですが、生活支援にもつなげていく考えです。

「まだまだ構想を具体化していくには、資金や組織基盤が安定していません。障がい者の方々自立も考え、将来的には、福祉的な事業も視野に入れたクラブハウスの運営を目指しています」と代表の仲野千鶴さん。現在、NPO法人化を視野に入れ検討中です。



▶バリアフリーサッカー大会「ベガルタカップ」の表彰式の写真(写真提供ベガルタ仙台)

多くの団体が集うプラザという施設を活かし、横の繋がりを築き上げ、それぞれの目標を達成していくことが期待されます。

みやぎNPOプラザでは、八月から常設ショップ・事務室の使用団体を募集します。日程、詳細などは決まり次第、みやぎNPO情報ネット等でお知らせします。

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

認定取得への第一歩!認定NPO法人講座

7/27(水)

14:00~16:00

会計・税務相談

7/28(木)

13:00~17:00

認定NPO法人申請相談

相談日は要相談

13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎022-256-0505 ☎022-256-0533

✉npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511

●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp

●http://www.miyagi-npo.gr.jp/

平成28年度 高齢者、障害者等の支援を目的とするボランティア活動に関する助成

- 助成対象：高齢者と障害を持つ人々に対する、社会福祉のボランティア活動に必要な各種器材の整備。
※詳細は下記URL参照
- 対象団体：ボランティア活動に実績があり、活動基盤が整備されているボランティア活動団体
- 助成金額：1件あたり上限90万円(助成率は9/10以内)
- 応募締切：7月15日(金)必着
※当該都道府県共同募金会から本財団所定の申請書入手し、当該都道府県共同募金会に提出。
宮城県の場合：宮城県共同募金会
TEL：022-292-5001
- 連絡先：公益財団法人車両競技公益資金記念財団
TEL：03-5844-3070
URL：<http://www.vecof.or.jp/>

2016年度上期こ～ぷほっとわ～く助成金

- 助成対象：高齢者・障がい者・児童のための支援・研究活動等のうち、2016年9月21日～2017年3月までに事業を開始するもの。
- 対象団体：宮城県内で活動する非営利の団体・個人(法人格の有無不問)
- 助成金額：1件あたり上限50万円
※講演会、フォーラム、演奏会等の開催は、1件あたり上限10万円
- 応募締切：7月20日(水)当日消印有効
- 連絡先：みやぎ生協生活文化部
こ～ぷほっとわ～く助成金係
TEL：022-347-3826
URL：<http://www.miyagi.coop/member/fukushi/hotwork/>

子供の貧困対策を進める環境を整備する「子供の未来応援基金」 2016年度助成

- 助成対象：子供の貧困対策のための事業(様々な学びを支援、居場所の提供・相談支援、生活・就労支援、その他貧困の連鎖解消につながる事業等)
- 対象団体：NPO法人、公益法人、一般法人、非営利団体(ボランティア団体・町内会)
- 助成金額：1件あたり上限500万円
- 応募締切：7月29日(金)17:00まで
※所定の申請用紙に記入し、電子ファイルをメールにて提出
- 連絡先：日本財団内 申請事務センター
TEL：03-6435-5752
URL：http://www.nippon-foundation.or.jp/what/grant_application/programs/children_future/

2016年 Panasonic NPOサポート ファンド (子ども分野・環境分野)

【共通事項】

- 助成対象：第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織

基盤強化の一連の取り組みで、以下(1)・(2)の連続している、または(1)、(2)のみの取り組み
(1)組織診断フェーズ (2)組織基盤強化フェーズ
※詳細はHPの要項をご覧ください

<http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf.html>

- 助成期間：2017年1月1日(日)～12月31日(日)
- 助成金額：1件あたり上限200万円
(1)のみの場合は上限100万円)
- 募集期間：7月14日(木)～7月29日(金)必着

【子ども分野】

- 対象団体：子どもたちの健やかな育ちを応援する新しい社会づくりを目指し、先駆的な活動と組織の自己変革に挑戦するNPO/NGO (法人格の有無は不問)
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド
(子ども分野協働事務局)
TEL：03-5623-5055(月～金10:00～17:00)

【環境分野】

- 対象団体：環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指すNPO/NGO (法人格の有無不問)
- 連絡先：NPO法人地球と未来の環境基金
(環境分野協働事務局)
TEL：03-5298-6644(月～金10:00～17:00)

公益信託 大成建設自然・歴史環境基金 2016年度助成

- 助成対象：国内ならびに開発途上国の自然・歴史環境の保全活用にかかわる活動や研究
- 対象団体：自然・歴史環境の保全活用のために、活動や研究を行う非営利団体
- 助成金額：総額1,500万円程度(助成件数30件を予定)
- 応募締切：7月29日(金)必着
- 連絡先：みずほ信託銀行株式会社
リテール・事業法人業務部 福祉信託係
(『公益信託 大成建設自然・歴史環境基金』事務局)
TEL：03-3274-9210
URL：http://www.taisei.co.jp/about_us/society/kikin/

「子どもと親子のスポーツ活動」・「地域の子どものスポーツ活動」を推進する団体への助成 (平成29年度 新規助成)

- 助成対象：1事業の子ども(幼児・小学生)の参加者が30%以上で、「子どもと親子のスポーツ活動」・「地域の子どものスポーツ活動」分野の大会、教室等を行うもの。ただし、他団体から助成を受けていない事業であること。
- 対象団体：営利を目的としない地域の団体、クラブ、NPO法人
- 助成金額：1件あたり上限20万円
- 応募締切：7月31日(日)
- 連絡先：公益財団法人ライフスポーツ財団
TEL：06-6170-9886(平日9:15～18:00)
URL：<http://www.lsf.or.jp/>

- ②「メール相談の基礎・返信文作成の必要技法」
7月30日(土) 13:00～15:00
③「メール相談実践講座」
8月20日(土) 10:00～12:00
※ロールプレイング内で、簡単な選抜考査を行います。

- 場 所：仙台市福祉プラザ 第4研修室(仙台市青葉区五橋2-12-2)
●参加資格：せんだいCHAPのメール相談事業にて、メール相談員としてボランティア活動が可能なる方。
●定 員：25名
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み。申込み時、氏名、住所、年齢、職業をお知らせください。託児が必要な方はご相談ください。
●申込締切：7月25日(月)
●主 催：子ども虐待予防センター仙台(せんだいCHAP)
●連 絡 先：担当：舟山
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
東北大学医学部法医学教室内
TEL：090-6250-7903
E-mail：senndai.chap@gmail.com
URL：http://sendai-chap.fd531.com/

8/1 地域の皆さんの健康を支える 「はしかみの保健室」

NPO法人生活支援プロジェクトKでは、地域の方々の健康を支える「はしかみ保健室」を開催します。

- 日 時：8月1日(月)、9月5日(月) 10:00～15:00
●場 所：はしかみ交流広場(気仙沼市長磯原ノ沢130-7)
●内 容：血管年齢、握力、血圧、体脂肪などの測定及び健康相談
●参 加 費：無料
●主 催：NPO法人生活支援プロジェクトK
●連 絡 先：TEL：090-4076-5071
URL：http://blog.canpan.info/sspk/

8/4 子どもたちの生きる力を育む 「学校の森・子どもサミット」

東日本大震災から5年経った今年、サミットを宮城県で開催するにあたり、森林での学習や自然体験を利用した防災・減災教育についても視野にいれ、森林環境教育の更なる可能性を発信する場にしたいと願っています。

- 日 時：8月4日(木) 13:00～17:30
●場 所：仙台市福祉プラザ2階 ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
●内 容：・小学校児童による森林での活動事例発表会
・基調講演「これからの日本の教育と体験活動、防災・減災教育」

・パネルディスカッション「森林環境教育と防災・減災教育」

- 対 象：どなたでも参加可能
●定 員：300名(先着順)
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先まで、氏名、連絡先、性別、所属をご記入の上、FAX・E-mailで申込み
●主 催：学校の森・子どもサミット実行委員会
●連 絡 先：事務局(認定NPO法人共存の森ネットワーク内)
TEL：03-6432-6580 FAX：03-6432-6590
E-mail：mail@gakkou-no-mori.org
URL：http://www.gakkou-no-mori.org/index.html

8/7 東北レインボー SUMMERフェスティバル2016

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなど多様な性に関わる東北の各団体が合同で開催する「東北レインボーSUMMERフェスティバル」。今年もステージイベントと各団体によるブース展示など楽しい企画もりだくさんで、夏の東北を熱く盛り上げます！

- 日 時：8月7日(日) 13:00～17:00
●場 所：仙台市市民活動サポートセンター
地下1階 市民活動シアター&4階 研修室5
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
●参 加 費：入場無料
●主 催：Anego
●連 絡 先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター
レターケースNo.26
E-mail：anegosendai@yahoo.co.jp
URL：http://tohokurainbowssummer2016.jimdo.com/festival/

8/23 体験「和紙ちぎり絵」

あなたの大切な時間を使ってお楽しみみの1枚を作ってみませんか？

- 日 時：初回 8月23日(火) 10:30～12:00
●場 所：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
(仙台市青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル8階)
●講 師：半澤 登美子氏
●参 加 費：1,500円(教材・チャコペーパー代)
●持 ち 物：はさみ、目打ち、おしぼり
●申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み
●申込締切：7月28日(木)
●主 催：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
●連 絡 先：担当：及川
TEL/FAX：022-217-0101
URL：http://www.sendai-senior.org/

情 報 を お 待 ち し て ま す

- 申込方法：問合せ先を明記の上、
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
●掲載は無料です！
○締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
○紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- 講 師：大久保 朝江(みやぎNPOプラザ館長、認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 内 容：①認定NPO法人制度の概要やメリット
②認定取得に必要な8要件
③寄附金「3,000円×100人」を集めずに認定を取得する方法
④節税効果大!「みなし寄附」とは? など
- 対 象：NPO法人、任意団体、これから団体を立ち上げようとしている個人など
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：800円(税込)
- 申込方法：申込書に必要事項を記入のうえ、下記連絡先にFAX・E-mailで申込み。申込書は下記連絡先URLリンク先からダウンロード可能。TELでの申込みもお受けします。
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)
URL: http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza_m20160727.html

7/28 親子で楽しむプログラミング バスケットランド

子どもも大人も楽しめるビジュアル言語「ビスケ」を使い、楽しく遊びましょう!!楽しく操作しながら、コンピューターを知る第1歩に!

- 日時・場所：時間両日とも10:00~12:30
①7月28日(木) 場所:Yahoo!復興ベース(石巻市千石町4-42)
②8月4日(木) 場所:みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 講 師：遠藤 一恵氏(ビスケファシリテーター)
- 参 加 費：1人1,000円(親子の場合1,500円)
※パソコン・タブレットはこちらで用意します。
- 持 ち 物：筆記用具
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。申込み時、希望講座名、氏名、連絡先、E-mailをお知らせください。
- 主 催：NPO法人パソコンママネット
- 連 絡 先：〒986-0832 石巻市泉町3-1-63
石巻市NPO支援オフィス内 Lc13
TEL/FAX: 0225-23-0822
(受付時間9:00~16:00(月~金))
E-mail: npo@pasomama.com
URL: <http://www.pasomama.com/>

7/28 南蒲生浄化センター・蒲生干潟 見学会

東日本大震災で壊滅的な被害を受け、この度新しい水処理施設で運転を開始した東北最大の下水処理場「仙台市南蒲生浄化センター」と、震災から5年経った蒲生干潟の回復の状況を視察します。

- 日 時：7月28日(木) 13:00~17:30
(集合場所：仙台駅東口 バスプール)
- 講 師：鈴木 孝男 氏
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：2,000円(バス代・保険代込み)
- 申込方法：氏名、連絡先を下記連絡先までE-mailでお知らせください。
- 主 催：雨水ネットワーク東北
- 連 絡 先：事務局(NPO法人 水・環境ネット東北 内)
TEL: 090-2979-5755
E-mail: mizunet@mizunet.org

7/30 平成28年度仙台市市民協働事業提案制度 SHIRO Lab. 48時間デザインマラソン 関連企画 「障害のある人との協働による社会デザイン」

SHIRO Lab.は仙台市域に暮らす障害のある人と地元デザイナーが、一緒に商品開発を行うプロジェクト。9月27・28日には、「48時間デザインマラソン」と題し仙台市八木山動物公園を舞台に、これまでになかったおみやげをつくり、その成果を障害のある人たちの経済的自立につなげようと試みます。この48時間デザインマラソンに先立ち、関連企画を実施します。

- 日 時：7月30日(土) 14:00~17:00
- 場 所：TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING
(仙台市若林区卸町2-15-2 卸町会館5階)
- 対 象：デザイナー、行政関係者、教育関係者、NPO関係者、企業、障害のある人、障害のある人の家族・支援者等
- 定 員：50人(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・E-mailで申込み
- 主 催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン
- 連 絡 先：東北事務局
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内 No.16
TEL: 070-5328-4208
E-mail: soup@ableart.org
URL: <http://www.ableart.org/>

7/30 「インターネット安全教室の指導 トレーニング」学習会

インターネットを使う子どもたちに起こりうるリスクを保護者の目線で洗い出し分析し、その結果を考える一連のプロセス(リスクアセスメント)について考えます。

- 日 時：7月30日(土) 15:30~16:45(開場15:00)
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 内 容：事例DVDと各事案に関連する内容を掲載した資料をご覧頂き、参加者の皆様と話し合います。
- 対 象：インターネットを安全安心に利用することに関心のある方などなたでも
- 定 員：20名
- 参 加 費：無料
- 申込締切：7月28日(木)
- 申込方法：氏名、職業、住所(町名まで)、年代を明記の上、FAX・E-mailでお知らせください。
- 主 催：NPO法人地域情報モラルネットワーク
- 連 絡 先：TEL: 090-6252-3432(10:00~17:00)
FAX: 022-243-2409
E-mail: info@neuis.org

7/30 子育て・子ども虐待防止 メール相談員養成講座

子ども虐待予防センター仙台(せんだいCHAP)は、日本子ども虐待防止民間ネットワークの、子育て・子ども虐待防止メール相談事業において、東北・北海道地域を担当しています。この度、せんだいCHAPのメール相談員ボランティアとして、活動してくださる方を募集します。

- 日時・内容：①「児童虐待について」
7月30日(土) 10:00~12:00

●連絡先：多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央2-25-3
TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706
E-mail：tagajo@sapo-sen.jp
URL：http://www.tagasapo.org/

7/21 つるがや元気会健康講座 「食べて元気」健康寿命を延ばす為の食事や栄養 歯や筋肉の大切な役割について

健康寿命とは心身ともに自立し健康的に生活できる期間のことです。健康で元気に生活をするためには、口から食べることが重要です。健康寿命を延ばすための食事や栄養、歯や筋肉などの大切な役割について一緒に考えてみましょう。

●日時：7月21日(木) 14:00～15:30
●場所：鶴ヶ谷市民センター
(仙台市宮城野区鶴ヶ谷2-1-7)
●講師：土屋 誉氏(仙台オープン病院 院長)
●参加費：無料
●申込方法：下記連絡先へTELで申込み
●主催：つるがや元気会
●連絡先：ひまわり手芸店(芦澤)
TEL：022-251-5663

7/23 精進料理教室～夏編～

「命をいただく」という感謝の気持ちを大切に、季節の野菜、豆類など植物性の材料のみを用いる献立を作ります。

●日時：7月23日(土) 10:00～14:00
●場所：おりざの家(仙台市太白区長町1-12-14)
●定員：8名(要予約)
●参加費：2,800円
●申込方法：下記連絡先まで申込み
●主催：NPO法人おりざの家
●連絡先：TEL/FAX：022-249-1625
URL：http://oriza1.jimdo.com/

7/24 北上川 川遊び体験2016

丸太で作ったイカダで北上川を下る、ワイルドな川下り体験のほか、ゴール地点に上陸してからは、昼食に流しソーメンも楽しめます。川を通して自然との関わりや木の力強さ、水の大切さを学びながら川遊びが楽しめます。

●日時：7月24日(日)、7月30日(土)、8月7日(日)

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

●場所：石巻市桃生町
(脇谷門9:00出発→植立山公園12:00着)
※受付は8:20まで
●参加費：中学生以上2,000円 小学生以下1,000円
(流しそうめんの昼食付、保険料込)
ライフジャケット、トイレあり
●申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み
●その他：出発前にゴール地点に駐車する場合は、送迎しますので、朝8:15まで受付をお願いします。最新情報は、スタッフブログ「北上川で遊ぼう」をご覧ください。
●主催：水と緑の環境フォーラム・ものう
●連絡先：担当：会長 白石
〒986-0302 石巻市桃生町倉坪字寺後69-1
TEL/FAX：0225-76-1083
URL：http://blog.livedoor.jp/a256278922/

7/26 早寝 早起き 朝ごはん 市場で… 「親子で市場を探検しよう！」

取引量が東北最大の仙台市中央卸売市場でセリの様子や、まぐろの解体を見学します。

●日時：7月26日(火) 5:50集合(解散10:00予定)
●場所：仙台市中央卸売市場
●定員：小学生以上の親子15組30名
●参加費：1,500円(親1名、子ども1名)
朝ごはん・保険料込み
●申込方法：氏名、生年月日、住所、TEL、参加希望イベント名を明記し、FAX・E-mailで申込み
●申込締切：7月16日(土) ※応募者多数の時は抽選。
7/19に連絡ハガキを発送します。
●主催：食育NPO「おむすび」
●連絡先：★申込先
FAX：0229-24-3436
E-mail：tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp
★問合せ先(食育NPO「おむすび」代表 清水)
TEL：090-4312-3025

7/27 認定取得への第一歩！認定NPO法人講座

活動を支えてくださる寄附者の皆様のために、認定取得をめざしませんか！認定NPO法人制度の最大のメリットは、寄附者に対する税制優遇です！認定を取得することで、寄附者に恩返しができるのです。「認定取得＝難しい」というイメージを吹き飛ばし、認定NPO法人への第一歩を踏み出しましょう！

●日時：7月27日(水) 14:00～16:00
●場所：みやぎNPOプラザ 第2会議室

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
■仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

宮城県のNPO法人数

806団体

●宮城県等所轄：389団体 ●仙台市所轄：417団体

※2016年6月10日現在

NPO法人の設立を新しく申請した団体

宮城県等所轄分 5月11日～6月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
ユナイテッド石巻 サッカークラブ	石巻市	地域住民に対し、サッカー教室を中心とした各種スポーツの振興に関する事業やイベントにより世代を超えた親睦と健康づくりを図るとともに、地域活性化や青少年健全育成等に寄与する。	6/10

NPO法人に認証された団体

宮城県等所轄分 5月11日～6月10日

団体名	所在地	活動内容	認証日
慶友会	気仙沼市	障害者や高齢者に対して、地域で自立した生活を営んでいくための事業を行うもの。	5/19

ワーク」を立ち上げ、熊本県との連携で、避難所における要
援護者の支援を中心に、支援活動に取り組んでいます。避難
所における要援護者を支援するために必要な活動資金を募集
します。一定期間の活動ののち、用途を公開いたします。

- 振込先：仙台銀行 北山支店 普通0007150
熊本地震・共同支援ネットワーク
会計 堀切 明美
(クマモトジシン・キョウドウシエンネットワーク
カイケイ ホリキリ アケミ)
- 連絡先：〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30 1階
NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター内
TEL：022-301-8820 FAX：022-727-8737
E-mail：kyoudounet@gmail.com

事業案内

なりたてママの子育てサロン おひさまBaby

赤ちゃんがいると外出するのが面倒になりがちですが、思
いきって外に出てみませんか？0歳児のママ同士、子育ての
ちょっとした悩みを話し、情報交換の場になっています。

- 日時：毎月第1水曜日 10:30~11:30
- 場所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 対象：0歳児(第一子のみ)と保護者
- 毎回の内容：ふれあいあそび、子育て&地域情報、カフェタイム、
好きなワンドリンク&お菓子、月替り企画
- 参加費：200円
- 申込方法：下記連絡先にショートメール・E-mail・TELで
問合せ、申込み
- 応募主体：NPO法人アミューズおひさま
- 連絡先：TEL：022-291-1916(留守録音可能)
ショートメール/TEL：090-9741-6334
E-mail：ohisamakids@gmail.com

さくらんぼくらぶ交流道場「ハーブ講座」

ハーブインストラクターを招いて、これまでハーブソルトづ
くり、キッチンハーブの寄せ植えづくりなどを実施しました。
その他、介護予防講座や認知症講座なども随時開催していま
すので、お気軽にご相談、ご参加下さい。

- 日時：毎月第4土曜日 13:00~15:00
(講師の都合により、日程変更有)
- 場所：NPO法人さくらんぼくらぶ・交流道場
- 参加費：一般800円 ※内容によって変更有
- 申込方法：下記連絡先にTELにて申込み
- 応募主体：NPO法人さくらんぼくらぶ
- 連絡先：〒987-0511 登米市迫町佐沼字下田中55-2
TEL：0220-23-0266
URL：http://sakuranbo-club.jimdo.com/

電話相談

女性のための相談窓口 電話相談、面接相談

エル・ソーラ仙台では、女性の自立を側面から援助すること
を目的に、女性の生き方に関する身近な問題について幅広く
相談に応じています。自立に向けて一歩を踏み出そうとして
いる多くの女性の方、ぜひご活用ください。

- 相談内容：夫婦、男女の問題、家族、子育て、こころの問題、
ドメスティック・バイオレンス、デートDVなど
の様々な問題に女性相談員が応じます。
- 対象：仙台市内に在住、または市内に勤務、通学している方
- 電話相談：月・水~土曜日 9:00~15:30
専用TEL：022-224-8702
- 面接相談：1時間程度、要予約 月曜日~土曜日
問合せ・相談予約TEL：022-268-8302
※受付時間 月・水~土曜日 9:00~17:00
火曜日 9:00~21:00
※お子さん連れの方は事前にご相談ください
- 相談費：すべて無料
- 主催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 相談支援課
TEL：022-268-8302
URL：http://www.sendai-l.jp/

イベント

7/15 2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた 《いいつたえ、むかしばなし、はなし》その4

みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチームが、
大津波で大きな被害をこうむった宮城県内の沿岸集落でかつ
て聞いた話をパネルで紹介するシリーズ展です。今回は、本
吉郡南三陸町歌津周辺で聞いた話を紹介します。

- 日時：7月15日(金)~8月28日(日) 9:00~22:00
※7月28日(木)、8月25日(木)は休館日
- 場所：せんだいメディアテーク 7階ラウンジ
- 参加費：無料
- 主催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクト
チーム、せんだいメディアテーク
- 連絡先：せんだいメディアテーク企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL：022-713-4483 FAX：022-713-4482
URL：http://www.smt.jp/

7/16 TAGAJO Future Labo(全5回講座)

例えば、「何かをしたい！」と思っているけど、その「何か」が
見つからない。例えば、「自分の特技を地域に活かしたい！」
けど、どうやって「活かせば」いいかわからない。そんな方
のご参加をお待ちしています！

- 日時：すべて土曜日開催
7/16、9/17、10/15、12/17、2017年1/21
- 場所：多賀城市市民活動サポートセンター
(多賀城市中央2-25-3)
- 講師：久保田 靖朗氏
(合同会社fluir代表/七ヶ浜町観光協会副会長)
- 内容：エクスカッション(体験型見学)やワークショップ
などの連続講座を通して、仲間と一緒に自分の
想いを整理し考えていきます(回ごとの詳細は
説明会及び1回目にお知らせします)。
- 定員：10名(先着順/要事前申込)
- 申込方法：申込フォーム(<https://ssl.form-mailer.jp/fms06c15911369481>)か、下記連絡先にTEL・
FAXでお申込みください。
- 主催：多賀城市(多賀城市市民活動サポートセンター)

- 場 所：アフタースクール：キッズベース内
- 内 容：グループレッスン及び個別レッスンにて、子どもたちに英語を指導
※1回のレッスンにつき、50分程度を希望
- 対 象：英語指導経験者
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 応募主体：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：担当：加藤
〒981-0901 仙台市青葉区北根黒松2-10
クローバースピアワッセ2階
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156
E-mail：m-katou@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp/

障がい児放課後等デイサービス指導員 および登録ヘルパー募集

子どもたちは、たくさんの可能性を秘めています。その可能性と一緒に見守り育てていきませんか？

【障がい児登録ヘルパー(パート)】

- 主な業務：障がいを持つお子さんの外出や、自宅での入浴や食事の介助
- 雇用形態：7:00～20:00の間の3時間程度 シフト制(応相談)
※土日祝祭日勤務できる方歓迎
- 勤務地：ばるけかりーによ(仙台市太白区西中田)
利用者居宅他(太白区・青葉区・名取市)
- 必要な資格：普通自動車免許(AT限定可)
ヘルパー2級以上、介護福祉士
- 給与・待遇：平日868円 土日祝日968円
- 加入保険：労災保険

【放課後等デイサービス指導員】

- (産休代替・平成29年10月31日までの予定)
- 主な業務：下記事業所での身辺自立支援、あそびや活動の支援、社用車での送迎業務(必須)
- 雇用形態：9:00～19:00の間の8時間・休憩60分
※シフト制(休日は原則土日祝日)
- 勤務地：ばるけ西中田(仙台市太白区西中田7-33-10)
- 必要な資格：普通自動車免許(AT限定可)必須
ヘルパー2級以上、保育士、介護福祉士、社会福祉士、教員免許などいずれかをお持ちの方
- 給与・待遇：946円～ 所持資格により資格手当有
- 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

【放課後等デイサービス指導員】

- 主な業務：下記事業所での身辺自立支援、あそびや活動の支援、社用車での送迎業務(必須)
- 雇用形態：12:00～19:00の間の6時間
※シフト制(休日は原則土日祝日)
- 勤務地：ばるけ柏木(仙台市青葉区柏木1-7-36)
- 必要な資格：普通自動車免許(AT限定可)必須
ヘルパー2級以上、保育士、介護福祉士、社会福祉士、教員免許などいずれかをお持ちの方
- 給与・待遇：946円～ 所持資格により資格手当有
- 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

【法人事務局スタッフ】

- 主な業務：障がい児とその家族を支援するNPOの事務局で請求関係(障害福祉等サービス、国保連請求を含む)、給与等経理を中心とした事務業務
- 雇用形態：9:00～19:00の間の8時間(休憩60分)
週休2日制(休日は原則土日祝日)
- 勤務地：法人事務局(仙台市青葉区柏木1-7-37)
- 必要な資格：普通自動車運転免許(AT限定可)
- 給与・待遇：820円～
- 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

【共通事項】

- 交通費上限：上限14,400円/月
- 試用期間：3ヶ月
- 契約期間：採用日～平成29年3月31日(契約更新可能性有)
- 応募書類：履歴書(写真添付・職務経歴・志望動機を記入)
- 応募方法：下記連絡先まで、履歴書を郵送
- その他：普通自動車の運転については、一定レベルに達していない場合、自己負担で運転講習に参加していただくことがあります。
- 募集主体：NPO法人アフタースクールばるけ
- 連絡先：担当 伊豆原
TEL：022-778-8666
URL：http://paruke.com/

お知らせ

「熊本地震支援活動」資金募集

熊本地震により避難所等で暮らす被災者のうち、特に要援助者の支援のために、4月26日に「熊本地震・共同支援ネット

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2016.6.16現在) 敬称略

●正会員 51名

<仙台市> ●大泉大介 ●齊藤康則 ●佐々木覚亮 ●梨本雄太郎
●成田由加里 ●新川達郎 ●畠山俊春
<塩釜市> ●NPO法人高齢者サポートチームしおたが

寄付を頂いた方々

<仙台市> ●大泉大介 ●佐々木覚亮 ●服部修
●かほく「108」クラブ
<埼玉県> ●中村元彦

●賛助会員 98名

<仙台市> ●小野寺悟 ●木村さち子 ●齋藤ツメ ●佐藤理絵
●白川由利枝 ●須長美代子 ●高田礼子 ●武山広美
●服部修 ●横尾匡彦 ●NPO法人おひさまくらぶ
●NPO法人オリブの木 ●かほく「108」クラブ
●社会福祉法人仙台ピース会 ●春風の家 ●ぼけっと・はうす
●認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
<気仙沼市> ●NPO法人海への森をつくらう会
●NPO法人ネットワークオレンジ
<栗原市> ●NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ
<東松島市> ●NPO法人創る村
<埼玉県> ●中村元彦

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

6月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

フリースクールボランティア募集！

学校以外の居場所「フリースクール」を運営しています。子どもの話や考えに耳を傾けてくれる方、募集中！

- 活動日時：月曜～金曜 10:00～17:00
- 活動場所：仙台市宮城野区榴岡4-5-2 大野第2ビル
- 活動内容：
 - ・勉強のサポート
 - ・遊びや運動の相手
 - ・ご自身の特技を生かしたアクティビティなど様々な関わり方が考えられます。※参加日時はご自身の希望やフリースクール側の希望をすり合わせながら、柔軟に設定します。週1回でもOKです。
- 対象：・高校生以上、社会人の方
・相手の話に耳を傾けて共感することができ、自分の意見を押しつけない謙虚な方
・最低3ヶ月は継続して参加いただける方（子どもとの関係性を大切にしているため）
- 報酬：交通費・謝礼はありません。ご了承ください。
- 申込方法：興味のある方、直接団体までご連絡ください。E-mailの場合、件名に「フリースクールボランティア希望」とご記入ください。
- 応募主体：NPO法人アスイク
- 連絡先：担当：下總（しもふさ）
TEL：070-5325-3817（月曜～金曜9:30～18:00）
E-mail：info@asuiku.org
URL：http://asuiku.org

小学生と遊び学ぶボランティア募集！

当団体は、経済的困難を抱えた小学生が放課後を心豊かに過ごす場を運営しています。子どもたちと一緒に遊び勉強しながら、気持ちに寄り添ってくださる方を、募集しています！

- 活動日時：火曜日、金曜日 16:00～21:00
※時間や回数は要相談
- 活動場所：仙台市宮城野区
- 活動内容：小学生の遊び相手・話し相手、勉強（宿題）のお手伝い、夕飯の調理など（ご希望の活動内容をお選びください）
- 対象：学生～シニアの方、子どもの自主性を大切にしながら温かく見守って下さる方
※3か月以上継続可能な方
- 研修：事前研修を設けています
- 申込方法：当団体まで、E-mail・TELで申込み
- 応募主体：NPO法人STORIA
- 連絡先：担当：松井
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-12-55
NAVISビル1階
TEL：080-3335-3828（10:00～18:00）
E-mail：info@storia.or.jp

目の不自由な方への情報提供ボランティア募集

せんだいメディアテークでは、目の不自由な方の希望に合わせて、資料を提供しています。今回は、「パソコン点訳」と「音訳」ボランティアを募集します。登録後すぐに活動していただくため、経験者のみの募集となります。詳細はお問合せください。

【パソコン点訳ボランティア】

- 活動内容：パソコンをお持ちで、メールの送受信や、点訳活動の経験がある方
- ①リクエスト点訳：目の不自由な方から要望があった文章の点訳
- ②データ登録：「サピエ図書館（目の不自由な方への情報提供ネットワーク）」に登録する点訳データの作成
- ③情報誌点訳：せんだいメディアテークのイベントや録音図書などを案内する情報誌を点訳、印刷、発送（※申込時、お使いの点訳ソフト名を明記）

【音訳ボランティア】

- 活動内容：音訳・朗読活動の経験がある方
- ①対面朗読：目の不自由な方に、希望の資料を対面して読む
- ②リクエスト音訳：目の不自由な方がお持ちの資料を音訳し、またはテープなどに録音、DAISYの編集
- ③情報誌音訳：せんだいメディアテーク主催のイベント案内や録音図書などをお知らせする情報誌を音訳、録音、DAISYの編集
※申込時ご自分で音訳・録音したカセットテープか、DAISY（5分程度、内容自由）同封

【共通事項】

- 対象：各ボランティアの①～③を継続して行える方（①～③の中から希望する内容を選択）
- 申込方法：氏名、年齢、連絡先、これまでの経験（所属団体があればその名称も）をご記入のうえ、申込み
- 応募主体：せんだいメディアテーク
- 連絡先：点訳・音訳ボランティア担当
TEL：022-713-4484 FAX：022-713-4485
E-mail：office@smt.city.sendai.jp
URL：http://www.smt.jp/news/2013/02/post-1.html

有給スタッフ募集

子どもたちに英語を教えてくれる方 募集中！

「学んで・鍛えて・創造して、毎日楽しい民間学童クラブ」をモットーとするアフタースクール：キッズベースでは、キッズベース内に月曜日から金曜日にさまざまな習い事を行っています。毎週月曜日に子どもたちに英語を教えていただける先生を募集しています。

- 日時：毎週月曜日 1回のレッスン時間につき、50分程度を予定（子どもたちを対象とした、グループレッスン及び個別レッスン）
※1回のレッスン時間については要相談



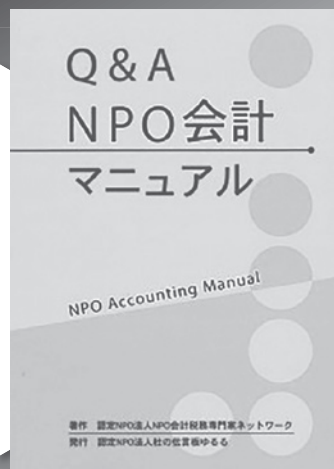
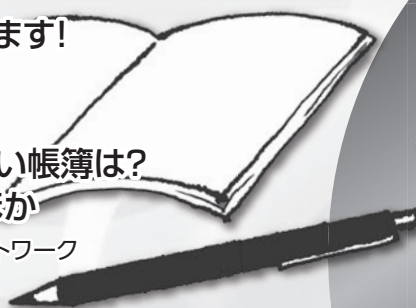
“NPO会計の入門書” 「Q&A NPO会計マニュアル」 改訂版ついに完成!

簿記知識のない人、経理の経験のない人が、突然会計担当になった場合でも「最低限これだけは知っておいてほしい!」ことを優しくまとめた、NPOのための会計マニュアルです。自分たちの活動を理解・賛同してもらうために「会計」は大切な業務のひとつ。透明性のある会計報告・情報公開は多くの信頼と支持を得るために欠かせません。業務を円滑に進めるための手引書として、ぜひご活用ください!

本書のポイント

- ◆Q&A方式で、原則1項目1ページ回答。簡潔明瞭で分かりやすい!
- ◆従来の会計業務を見直したい!という長年の経験・スキルをお持ちの方にもおすすめ!
- ◆日常業務の悩み・疑問にお答えします!
- ◇所轄庁への提出書類って?
- ◇活動計算書とは?
- ◇NPO法人がつけなければならない帳簿は?
- ◇どんな時に源泉徴収が必要? ほか

- 著作:認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク
- 発行:認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 価格:¥800(税込)
- 問合せ・販売先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8参照)



杜の伝言板ゆるる 第14回 通常総会のお知らせ



日頃より、当法人の活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、7月24日に当法人第14回通常総会を開催いたします。総会終了後、昼食会も予定しています。

正会員の皆様のご出席をお願いいたします。

なお、議決権はありませんが、賛助会員の皆様も、オブザーバーとしてご参加いただけます。

※杜の伝言板ゆるるは、ご賛同くださる皆様の会費で運営しています。

平成28年6月1日より、新年度を迎え、平成28年度の会員を募集中です。ぜひ、ご支援、ご協力をお願いいたします。会員については、P14をご覧ください。

■日時:平成28年7月24日(日)

・10:00~12:00【総会】 ・12:00~13:00【昼食会(予定)】

■会場:みやぎNPOプラザ(所在地は、P8をご覧ください)

※駐車場はございますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。駐車場が満車の場合、近隣の有料駐車場をご利用ください。